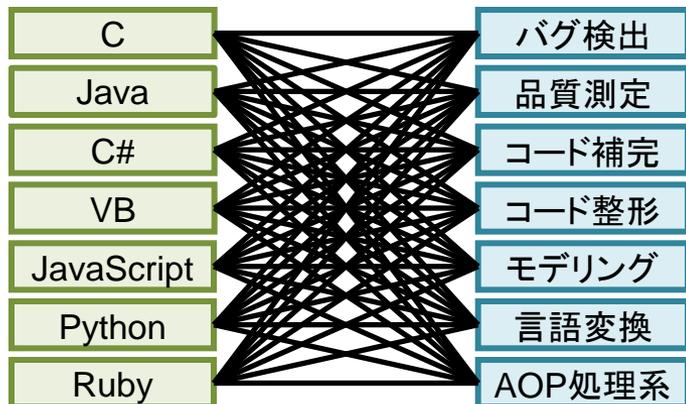


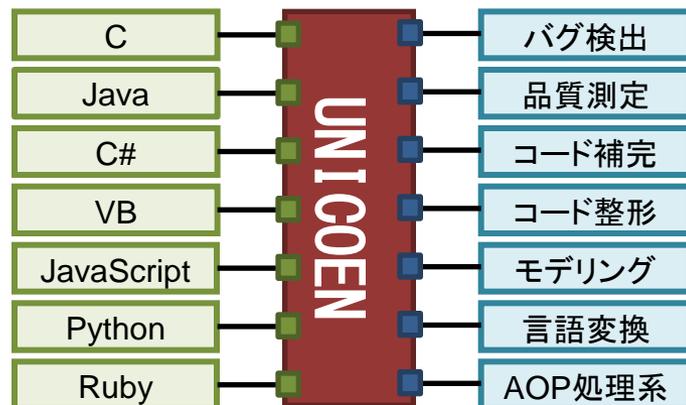
Unicoen

複数言語対応のソースコード処理ツールのフレームワークとその利用例

7×7の49通りの実装



7+7の14通りの実装



チーフクリエイター: 坂本一憲 (早稲田大学)
コクリエイター: 太田大地 (株式会社Access)
大橋昭 (早稲田大学)
岩澤宏希 (早稲田大学)* *2011年3月まで

従来のソースコード処理ツールでは、プログラミング言語と処理ツールの間に多対多の関係があり、以下のような問題があります。

- 全ての処理ツールが全てのプログラミング言語に対応するためには莫大な開発コストがかかる
- 同じ種類の処理ツール間で対応言語による差異が生じる (ソフトウェア品質の測定基準が異なるなど)

UNICOENは、

- 言語非依存な統合コードモデル
- モデル上の汎用的な共通処理(要素の探索、追加など)

を提供することで**多対多**の関係を**多対一**の関係に簡略化し、複数言語に対応する処理ツールを低コストで開発できるように支援します。

Write Once, Support Any Language.

Write Once, Support Any Tools.

1度UNICOENを利用して開発したツールは、統合コードモデルを通じて全ての言語に対応するツールとなります。また、1度UNICOENに対応した言語は、統合コードモデルを通じて全てのツールから利用できます。